

「プロローグ・悩みの種があります。」

悩みの種があった。たぶん、ひとによつては、まさに種のように小さい悩み。インターネット上では、自分が何者なのかを考えなくていい。

対面した時の視線、声色、言葉遣い、

どうやらネット上の世界は、現実より寛容だった。

枕に顔をうずめたくなるような過去だって、誰も知りやしない。

本当の自分。それを、開けつびろげに顔に出すことだって出来る。

だからこそ、こころの傷をえぐるような中傷も、唯一無二を叫ぶ讃美歌も、

誰も彼もが、仮面を被らずに口にする。

僕は、そんな世界でこそこそと……ちよつと下品な言葉を話すのが好きだった。

普段の僕からは誰も想像がつかないような、そんな下ネタをぼつりぼつり、

深夜帯には、大声で叫ぶように……イヤらしい言葉を発信していた。

そんな行為に、なんとも言えない、快感のような感覚を覚えてしまうのだ。

変な遊びだと思いつつも、とにかく気持ちが良いのでやめられなかった。

僕が彼に出会ったのは、先週のこと。

特に意図もなく繋がった関係だけど、彼の言葉はとても愉快で、

僕の下ネタに乗っかつては、グサグサと僕の性癖を刺す返事をくれる。

それに便乗して、生々しかったり馬鹿馬鹿しかったり、公の場で、

ひとに見られるのも憚れる言葉を叫び合った。正直、気持ち良かった。

しかし、例に漏れず彼も……僕の過去など知る由もない存在だった。

……はずなのに。

彼はなんだか、おかしかった。

だんだんと、彼のメッセージは、まるで僕の意識を、思考を、こころを、

見透かすような内容へと変わっていったのだ。

ネットの海で、下ネタカーニバルを開催しては頭を心配される僕。

僕は、ただそれだけの概念であるはずなのに、なぜか彼は、

僕の日常を、僕の本来を……知っているかのようにだった。

急に恐ろしくなった。手足が震えて、顔が青ざめていった。

もしかしたら、現実の僕を知っているひとなのだろうか。

いや、そんなはずはない。だって、現実と結びつくような情報は何も……。

ひッ……！

また通知だ。彼がメッセージを送ってきたのだ。

恐ろしいとは思いつつも、彼との縁を切れないでいた。

彼だけ通知をオンにして、何を言われてもいいように身構えているのだ。

びくびくしながら、画面のロックを解除する。

やはり彼だった。ブルーライトにハッキリと映った通知タブ。

そこには、たった一言……死刑宣告とも、希望の光とも思える、

妙な、胸を震わす文面が光っていた。

「放課後、屋上で待ってる」

……行っても、行かなくても、僕の人生は終わったような気がした。

目の前が真っ白になる。何も考えられない。返事もせずに、僕は、

無慈悲に歩み続ける時計の針を……ぼーっと見つめた。

……あ。

あ、あ……あの、えと、え、あ、まさか、そんな。

あ、あなた、が……。

ふえ、あ、そ、そ、です……。僕が、わ、ワン子、です……。はい。

いえその、だって、ネット上の関係が、まさかクラスメイト同士だったとか、

ちよつとびっくりしちゃって……。

う、う、すみませツ……。あ、な、なんでもします、なんでもします、

でも、あの、痛いことだけは……。

ひいいつ。ぬあ、ち、近い、近いです、ちか……。

う？ な、なんでスマホ出してるんですか……？

……あ、あああそうか、僕、ここで終わっちゃうんだ。

脅されちゃってやられちゃって。乱暴されれば制服半脱ぎ、

パンツもずらされ無理やり手すり、人形みたいに扱われ、

イヤイヤ言っても挿れられて、いちばん大事な奥の奥、

ギューってアレを突っ込まれて、パコパコしまくる放課後に。

びゅうびゅう真っ白出されても、ただただ僕は抗えず。

スマホで痴態を保存され、ネットの海に拡散し。

全部終わって、人生終わって、ああ、

なんか、それ……………ごくリッ……………イイなあア……………♪

……………ハッ。

ああああ違ッ、違うんですよ、ぜんぶ違いますッ、だって、

あの、これじゃ僕ッ、ただのDMの変態じゃねーかとか、

語りの冒頭は何だったんだとか、そういうこと思われちゃうじゃないですかッ。

あいや、語りのくだりは何でもありません。違います。忘れてください。

というか全部忘れてください。僕マジでそのあの、ゴミなんです。ゴミクズで。

貴方の記憶の一片になることすらおがましくて、大層失礼な話で。

わッ、あのっその、すみません引いてますよねすみませんほんと。

引いてるでしょ？ 引いてます絶対引いてますねその顔。ううわああ。

引かれてしまった。不快な思いをさせてしまった。なんてこった。

何にせよ終わりだ、終わりなんだろう、僕の人生ハッピーエン……………いや、

バッドエンドでさようなら……………。

……………へ？ え？ あえ？ なんですか、なに、え、その画面は一体……………。

ぬっ！？ 僕のアカウント……………？ なんでいまさら……………？

……………ふえ！？ あああ、あ、そうです、これ、だいぶ前に上げた写真です……………。

わっ、ひいッ、ほんとだヤバッ！ 顔が反射して映っちゃってる！

えっえ、もしかして、貴方が僕のことを知ってるような口ぶりだったのは……………、

この……………写真のせい……………だったんですか。

……………ううっああ……………ハズカシイッ、ハズカシイッ。

うう、う、あの、えっと、まずは、教えてくださってありがとうございます。

でもその、なんというか、どうしてわざわざ……………呼び出しを……………？

僕がこう言うのも大変失礼な奴ですけど、

気づいたときにメッセージをくださればこんな、……………あの、あの、えっと。

……………へ？ ……ば、僕に？

え、あの、すみません、聞き間違いだと思っんですけど、もう一度……………。

……………ふえ。え、それって、ワン子……………じゃなくて、リアルの僕にとってこと？

リアルに僕に興味を持ってたってこと……………ですか？ ……あは、ハハハ、

わあおもしろーい！ ふへへ、おもしろい。ですけど、えと、

ごめんなさい、僕そういう冗談みたいな、あんまり分からなくて。

ああああの、その、正直……………うれしい！ とか、思っちゃったり。

いやほんとスミマセン僕なんですが、僕ごときがそんな感情抱いてるの、

マジで生意気でクソって感じですけど、でも、嬉しいですよ、ハイ。

いつもネットで……………僕の馬鹿みたいなノリに付き合ってくださいって、貴方には、

色々感謝してますし、だから、どう言えいいのか、とにかくあの、

貴方のその気持ちが冗談ではないと仮定いたしますと、

お返事をせねば失礼ということで、僕の気持ちもお伝えします。

……………僕も、貴方に……………ありました。興味。はい。

……………ふえ。う、嬉しいんですか？ ヴェエ……………なんだろう、変だな、

目眩がします。ああ、ああんかふらつく……………ッ……………ひゃっ。

ひあッ。あ、ああ、す、すみま、あ、あ、ちよ、あ、ひ、近い、近いよ、近い。

ドウアメですッ、僕を、そんな、僕に触ったら、あ、あ、あ……………。

ああイア…………………………♪

……………ハッ。あ、あ、違います。いや何が違うっていうか、ごめんなさい、

大丈夫です。何もかも大丈夫すぎますので、はい、ありがとうございます。

……………あの、あの、今日お話してお分かりかと思うんですが、

僕、ひとと対面するの、本当に苦手で、だからあの、これからはやっぱり、

ネットですり取りしませんか。あは、あはは、すみません。

……………はい、そうしていただけると助かります。ごめんなさい。

こういうの初めてだし、僕、友達とか全然できたことないから、ハハ……………。

じゃ、その、はい、また……………。今日は、その、すみませんでした。

……………うえ。そ、そんな、友達だなんて、ああは……………ありがとうございます。

はい、友達……………ですね。友達。とも、だち……………えへ、えへ……………。

な、なか、なかよく、してくださいね、えへへへ。

〜貴方の種が欲しいです。

ひつ。あ、あ、ホントに映ってる……、こわ……。

じゃなくて、こ、こんばんは、姫神……じゃなくて、ワン子です。

え、ええ、バッチリ見えてます。妹に色々教えてもらって、機材そろえました。うう、でもまさか……ビデオ通話をすることになるなんて。

確かに対面は苦手だし、電話も電話で顔が見えないのは不安だったり、我ながらもうすつごい面倒くさい性格してるので、

あ、ネット通話も対面っちゃ対面ですけど、

直接よりは全然……楽です。なんでだろ、不思議と落ち着きます。

というわけで、その、よろしくお願いいたしますっ！ はいっ！

えっと、まずはどうしましょう？

とりあえず、あの、胸を見せればいいですか。

……へ！？ ちょ、ちょ、どうしましたっ？ 僕なにか間違ってる……、……え？

え、あ、あ、すすすみませんッ！ え、あの、ビデオ通話って言うから、てっきりそういうことだと、え、え、違うんですか！？

あああッごめんなさッすみませッ……え、えでも、だって、貴方が昨日、友達になつてほしいって、友達って、つまり……セフ……、……え、え。

僕、あの、恥ずかしながら……誰ともしたことないので、その、

ビデオ通話で……スケベなこと、するのかとばかり思ってる……すみません。

う、うう、うあああッ……！

なんてこった。僕、めちゃくちゃヤバイ奴じゃないですかッ……！

恥ずかしいッ、恥ずかしすぎてッすぎてッ……ああ、何この羞恥プレイ。

超興奮する……じゃなくてッ！ いやほんとあのごめんなさい。

そうですね、僕みたいな陰キャでぼっちで、クソクソのクソっていうか、生きてるだけで地球の酸素を無駄にしまくってるカスなんて、

セフレにする価値すらないですよ。一生未使用の穴ぼこですよ。

ああ……八つ裂きにしてください……。そのあと東京湾に沈めてください……。

うあでも海が汚れちゃう、死後まで赤の他人に迷惑なんてかけられない、

なんて僕はダメなんだろう、なんて汚いゴミなんだろう、ゴミにも失礼か、ハハハ……。

あ、はい、はい、すみません、落ち着きます。落ち着いて手首を切ります。ちようどこにカッターナイフが……。

……うあ、あ、すみません暴走しちゃって……。

ふうう……。よくよく考えれば、僕なんかの胸なんて……、

胸……なんて、……あ、いえ、なんでもないです。

いやでもほんと、すみません、勘違いしちゃってすみません、

すみませんって言いまくってすみません、なんか、謝る癖があつて。

えと、どうしましょ……ハハ、一体何を話せばいいやら。

……え？ え、え？ はあ、はい、……どういことですか？ それ。

……、ふえ。え、え、え、つまり、僕たちがいつもネットをやってる、

あれ、を……ここで……？ やるん……ですか？ 本当に？

え、あ、あ、たし、かに、そです、ハハ、元々ね、はい、

そういう関係……でしたからね、ハハ。えでも、でも、でもお、

顔、見られながら、ですよ？ リアルに……下ネタを喋るんですよ？

あ、あ、あ、そん、なの、……引きますよね？ 絶対引きますよね？ ね？

ヒッ！？ ちょッあッなッなッやめてっやめてっください、そんな、

そんな下品な言葉、連呼しちゃうダメですっ、下品ですッ下品ッ……、下品、

……あ、ああ、ああ……。

そうだ、僕、……それがしたくてしたくて、……、うう、でも、

本当に引きませんか？ こ、興奮、して、楽しんでいただけますか？

ネットのやり取りみたいに、……僕を嫌わないいただけますか？

……うう、あ、……はい……そうですよね。

貴方はいつも、そうでした。きつと、今も、きつと……ああ……。

あの。今……家族はいません。ここには……貴方と、僕だけ。

……いえ、あの、つまり……ぼ、僕、僕は……僕はッ……。

……ちん……ぼ……。う……ちんぼ……。

ちんぼッ、……ちんぼッ、ちんぼッ、ちんぼちんぼちんぼおッ！

ちんぽまんこオナニーセックスッ、パコパコパコッ、
ちーんぽっ♪ ちんぽおーっ♪ クリトリスクリトリスクリトリスッ、
ああ生ハメちんぽッ、ゴム無しちんぽセックスッ、野外露出変態青姦交尾ッ！
ちんぽ生ハメ中出しエッチッ、ひっひめッ姫神ひとつッ、変態オナニーショー、
しまくりたいいいいいいいいいいいッ！

わだッ私いいッ、いつも隠してるけど、本当はド変態なこと大好きで、
エロ妄想ばっかしてる脳内クソビッチのドスケベオナニー女なんですッ！
おっぱい下品なくらいおつきくて、おっぱい敏感だし乳首すぐ勃起して、
実は自分のおっぱいドスケベなエロ乳だって自覚しててッ、

鏡でッ、おっぱいだけじゃなくて、自分のエロい身体に見とれたりッ、
たまに男のひとの視線感じて、一緒におまんこもヌルヌル感じちゃってるッ、
万年発情期のメス豚オナホ願望のクソ変態でええええええええええッ！

ひひッ、じーっはあー、さっき貴方にい、おっぱい見せましようか、
って聞いたのも、屋上で貴方が僕のエロ乳、チラチラ見たの知ってたから♪
見たいのかなあ、僕の生乳視姦してちんぽシゴきたいのかなあって思って、
メスパールして誘惑してましたあッ♪

ッ……はーッ……はーッ……はーッ……う、ううッ、う、ああハハ、
アハハハッ……♪ あああああ……たあのしいいッ……♪

えへへえッ……見てていただけました？ 聴いていただけました？

僕のすっごい下品な声、下品な顔、……ああ……やっぱり貴方はア……♪
うふ、僕のこと、ちゃんと見守ってくださってた……。

……僕、ひよっとしたらあ……待ってたのかもしれない。

貴方がこうして、僕の正体を突き止めるのを……。

えへッ、えへへへへッ……改めて自己紹介させてください。

これが僕です♪ ワン子こと姫神ひとつ、じゅーはっさいの淫乱処女JK♪
性格はド変態で、ド下品で、男のひとにド直球下ネタぶつけて発情してる、
どおっししょうもないクソマゾ淫乱メスマンコでえす♪

あーあ、言っちゃったあ、僕もう貴方に人生握られちゃいましたね♪

録画されてたら僕もう終わりですね。

主従関係を強要されたって、肉便器になれて言われたって、
僕は貴方に指一本触れることすら許されないうすから。

ああでも、僕、貴方になら……貴方には、なにか、

他のひとに感じたことのない……不思議な印象を抱いてました。

それは……貴方が現実で僕を知ってたからなのか、それとも、

……嗜好、性癖が……びっくりするぐらいマッチしてたからなのか。

身体の相性も最高かもしれませんね……♪

……ニヤニヤしてる。ねえ、今、えっちな気分ですか……？

ん……♪ 僕も、すっごいえっちな気分……♪

……勃起、してる？

……そうなんだ……♪ 僕もね、お、ま、ん、こ、濡れ濡れです。

ひひひひッ♪ 僕たちすっごいエロいことしちゃってますね。

でも、こうしてると満たされます。気持ち良いです、とても。

お話してるだけでこんなに気持ち良くなれるなんて、幸せ……。

……あのですね。僕、貴方の種が欲しいです。

貴方に初めてを奪われたって思ってます。

もう僕、何も隠しませんよ。さっきので……タガが外れました。

でも……今はお会いできませんから。代わりに何か、します？

したいですか？ ……へへへ♪

……ふふ。えっち、変態、ドスケベちんぽ野郎……♪ きひひッ♪
じゃーあり、こういうのどうですか……？

ビデオ通話でえ、画面越しに恥ずかしいところ見せ合って、
ぬるぬるになっちゃうようなエロトークして、気持ち良いコト、
しまくっちゃう、理性も知性もないような下品な遊び……♪

えへッへへへへッ、えへへへへッ♪

あはははは、アハハハハッ……♪

☺見て、視て、ミテ、本物の僕を。

ああ、あああ、しましよ、エロトークう♪ めっちゃエロい話、しましよお♪
貴方の声でそれを聴きたい、僕の声でそれを聴いてほしい。

僕のこの口ってば、下品な単語を垂れ流しまくりで、ほんとはしたなくて、あのね、僕の未貫通マンコも同じくらい下品なんです♪

すぐよだれ垂らしちゃって、ぬるぬる勃起おちんぼ欲しがっちゃって、上の口も下の口も、いっつもちんぼちんぼちんぼちんぼって呟いて、

本物のちんぼ啞えたことないのにね、ちんぼの味知らないのに、

ちんぼに飢えまくってるんです♪ めちゃくちゃ食欲な口なんですよお。

はあ♪ ああん……♪ 暑い、暑いなあ……♪ 通気性最悪ですこの服う。

んっ……、……やあん♪ 谷間見すぎい♪ 目えめっちゃやらしいですよ？

え、なに、えなに、そんなに僕のお……汗だくデカ乳、気になるのお……？

キヒヒヒッ。見てください、これ、さっきのカッターナイフです。

今から何すると思います？ ひひっ♪

あは、あはは、はあ、はあ、こゝれゝでえ。

えいっ。じゃあゝゝんっ♪ ああゝゝッ見えちゃった、服切っちゃった。

ああおっぱい見せてる、僕いまおっぱい見せてる、自分から見つけてる。

何してんだろ僕う、もう隠す気ゼロじゃんクソ変態い、やああんっ♪

ひゃ、見てる見てる……♪ ほら、おっぱいですよ？ おっぱい、おっぱい。

めっちゃムレムレのノーブラデカ乳、パツンパツンだったシャツ真っ二つうムラムラします？ しちゃう？ 今ならローション使わなくても、

ちんぼズルズル潜り込んだじゃえますね。ああもちろん、両手でぎゅ、ぎゅ、

ってして、上下にズリズリズリするアレもやっちゃいますけどね？

じゅるりッ……♪ えはあ♪

先っぽはあ、この下品な舌とお口で、栓してあげますからあ、

限界のときは、喉の奥の奥に直接流し込むつもりでえ、

しゃ、せー♪ してね？

あははッ、ほんつと暑いなあ、身体中が欲情しちゃって、汗だくう♪

見て、視て、ミテ、本物の僕を。お下品遊びで発情、劣情、大欲情です。

ああでもお、この暑さは、貴方と下ネタぶつけあったとき、

いゝゝゝっつも感じてた熱なんですよお？

貴方がメッセージ送ってくるたび、僕の、

お、ま、ん、こ、もうグツシヨグシヨに濡れてえ、勃起ちんぼ受け入れ汁う、

僕のがやらしースケスケおパンツに染みまくってたんです。

僕う、そのおパンツのお、いっちばん染みが濃い筋のところお、

人差し指で何度も何度もなぞって、その指で、

貴方へのお返事を打ち込んだんですよお……♪

えへッ……えへへへ♪ 僕、想像してたよりずっとスケベだったでしょお？

こんなものじゃないんです。口に出来ない、言葉で伝えられない、

この、なんか、心の中にグツグツ煮え滾ってるものがあって、それ、

ぜーんぶ貴方のモノにして、ぐちゃぐちゃにかき混ぜてほしいのっ。

僕を受け入れてくださった貴方に、僕の全部を捧げて、貴方の色に染めてほしい。

……わがままですか？ 重い女ですか？ さすがに引いちゃいますか？

ッ……！？ すッご……♪ ズボンの下から、そんな、そんな盛り上がって、

リアルで勃起してるの、初めて見た……、あ、いや、あの、それって。

つまり、お返事、ですか……？ オッケーってこと……？

……あはッ♪ あはははッ♪ ちよっと、ほんと、貴方エロすぎッ♪

勃起見せつけが承諾のお返事って、あははッ、なんか安心しました♪

はああッ……♪ やり取りしてたときから、貴方もド変態だなあって、

思っていましたけど……そちらも想像以上ですわねっ、ひひひッ♪

いえいえ、嬉しいです。嬉しすぎます。嬉しすぎて首折れそうです。

僕、自分がこんな変態なのに誰にも言えなくて、

唯一同じ位置にいたのが貴方で、しかも僕を受け入れてくださって……。

アア、お願いします、その勃起ちんぼ、まさぐりながらお話してください。

パンツの下に手突っ込んで、カチカチのおちんちんイジイジしてください。

お願い。お願いします♪ 僕の顔とおっぱい見ながら、僕の声聴きながら、

僕とお話しながら、ずーっとちんちんいじってるの、超スケベです。

そんな夢みたいなお話を今まさにやってるなんて思うと、うううあ、

ド変態すぎい、最高オ……♪ だから……いじって？ おちんぼ……。

僕の声聴くだけで、おちんぽいじりたいて思えるようになるくらい……、僕のこと、ドスケベ女だ、オカズだ、って……認識してください。

……あ、手……手、動いてるの见えてます。バッチリ见えてます……。

わああ、僕、オカズ？ オカズなんですか？ シコれますか？

……あの。視線、顔とおっぱい行き来してるの分かってますよ。

もうほんと、超エロい、貴方のその目つきクセになりそお。

さあ、目に焼きつけてください……僕がこんなメスの顔して、

ホルスタインみたいな乳見せつけて、乳首をおちんぽみたいに硬くしてるとこ、貴方の脳内アルバムに保存してほしいです。

ワンスのオカズフォルダ作ってください。

イカ臭いドロドロの記憶にしてください。

はああ♪ 貴方はいつもいつも、僕が悦ぶお返事してくださいますね、本当に。

……僕、貴方とお話してるだけで、どんどんどんどん、

どんどんどんどん、貴方のこと……好きになってる。好き。好き。好き。

チョロいですね。……ええ、自覚してるんで。っていうかもう、あれですよ。

ネットでお話してたときから、ずっと好きでした。好き。好きです。

……ほんと……ですか？ 僕なんかを？ あ、あ、ありがとうございます。

はい、好きです。彼女にしてくれなんて言いません。肉便器で構いません。

僕をオナホにしてほしいです。良いように使ってほしい。何でもします。

何でもしますから。僕、そういうことでしか自分に価値を見出せないから。

僕に同調してくださった貴方が、僕のことを使って気持ち良くなれるなら、

興奮するなら、満たされるなら、それだけで僕は幸せです。とっても幸せ。

ふえ。……か、か、彼女にしていただけですか……？ ガチですか？

僕をですか？ この僕を？ ああ、ああ……そんな、そんなそんな、

え、え、……それつまり、ネットで知り合う前から……リアルの僕を……？

す、すす、好きだったんですかッ！？ マジで！？ 頭おかしいです貴方！

あつご、ごめんなさい、だって僕なんか、身体くらいしか取り柄がないのに。

ひい、僕、今日が人生でいちばん……ここが満腹です。

貴方……は、もう、あれです、あれですよあれ、マジのガチであれです。

あのね？ ムラつとしたらいつでも……僕のこと、呼んで？

フェラ抜きパイズリ、生ハメ、全裸ダンスも淫語連呼も野外露出も。

身体に落書きだってします。どんな下品でエロい衣装でも下着でも着ます。

僕、を……貴方の好みそのものに……改造してほしい……。

少しでも貴方の興奮を刺激できるような、都合の良い女になります。

あ、でも、でも、あの、贅沢かもしれないですけど、もし本当に恋人なら、

……抱きしめて、キスして、頭撫でて、あ、ああ、あ、愛して……ほしい。

ひっごめんなさいごめんなさい僕なんかがッそんな、ひと並の幸せッ、

許されるわけじゃないですよハハハッ！ 忘れて忘れて、何でもないから。

……う、あ……？ はい、……、ああ……、……好き……♪

へへへ……よく考えたら、ちんぽいじりながら告白受け入れちゃうの、

本気で頭おかしいですよ、ハハ……、あつ誉め言葉ですからね、

分かっていると思いますけど。僕だっておっぱいガン見せですし……えへ♪

もうたまりません……欲求が満たされすぎて、なんか、

ただ貴方とこうして見つめ合ってるだけで……何もかも気持ち良いです。

でも、もっと、もっともっと、もっと……貴方と……。

好き、なこと……し合いたいな……♪

♪液晶・超越・交尾！

あのあの、あの、こんな下品おっぱい丸出しで恐縮なんですが。

そ、そろそろ……生を見たいです。え……えへ……ちんぽ……♪

見せてくれる……？ カメラの前に、ぷるん、って出してほしいですう……。

……ひゃっ、あ……アアア♪ ああ、あ、ちんぽ、本物、ちんぽだ、

しかも貴方の、貴方のちんぽ、ちんぽ、ちんぽ、ああ、ああ、

ス、テ、キい……♪ 太い……上向いて……硬くなってるんだ……ああ♪

じゅるッ♪ も、もっと、カメラ……寄せて……。はい……。

……わああ、わああああ、見えてる、見えてます、貴方のちんぽ、くつきり、

ガチガチでッ、先端から蜜が、我慢汁だあつ……ああおいしそお……♪

ハアッ、ハアッ、ちんぽッ、大好きな貴方のちんぽが目の前ッ。いやもう、僕の目の中に入りそう。入ってほしい。

もういつそ僕の瞳、貴方のちんぽになってほしい。そうすれば常にちんぽですうえへへ♪ 僕がちんぽって言うたびにビクビクしてるの、見えてますよ。

いひひ、僕で興奮してるんですね、イケない気持ちになっちゃって、僕のこと犯したいって思ってますか？

それともオカズにしてぶっかけたいですか？

どっちにしろ幸せ♪ 僕をゆえんに射精しちゃうんですもんねえッ、へへへ♪

ああそうだ、さっきのお返しさせてください。素敵でたくましいちんぽ、

あんなにハッキリ見せてくれたからあッ……♪

よい、しょ……へへ、へへへっ……♪

両手でクパアしたら、よく見えます？

僕のお、ハメハメ希望汁たれ流しにしちゃってる、

貴方専用の肉オナホ、じいっくり見て、見てくださいッ。見てシコってッ。

ほら、ほらあ♪ ウあああ、見えますかあ？

まん毛も勃起クリトリスも、膣の奥も、恥ずかしいところ全部、全部、

全部全部見てください。はああッ、あッあ、うあ、カメラが、

貴方の目えそのものみたいッ。それに、何だか熱い。熱いのがキてます。

貴方の邪な吐息が、カメラから吹いてきてる。本気でそう感じちゃってます。

ひっあ、え、エロいですか？ そんなに？ そんなにエロい？ エロすぎ？

ふああッあ、うれしッ……こんなにはしたない、よだれの舐められてない、

非モテ処女のクソガキまんこなのにつ……すっごいやらしい目で……。

も、っ……見て……！ 誰にも見せたことないのっ。新品なのっ。

未使用なのに、ちんぽ欲しすぎていつも濡らしてるのっ。

貴方に見られたいッ。貴方に犯されたいッ。貴方のちんぽの形になるまで、

なっても、ずっと貴方とセックスしたいッ。セックス、セックス、セックスッ。

ああああ……欲しい、貴方のちんぽ欲しいッちんぽ欲しいッ……。

あッ！ あッあッあ、うッああッ♪ はーッ、はーッ……♪

ああ見てッ、ンッ、僕、こ、恋人になったばかりの男性にッ、

おまんこクチュクチュッ、指オナ見せつけてますよおッ♪

ああッ、僕、いつもこうやってオナニーするんですッ♪

人差し指と中指ッ、狂ったように膣に突っ込んでえッ、あうッ♪

下品な声も我慢しないしッ、椅子びしゃびしゃにしちゃう悪い子なお♪

はあッ、はあッ、すごいッこんなッ……初めて、こんな気持ち良いの、

初めてッ。いつものオナニーと全然違うッ……。

うあッ♪ んッ！♪ ッは、はいッ、そおです、その通りですッ。

指をね、貴方の勃起ちんぽに見立てて、突っ込んでるんです。

ううッ本当に貴方のちんぽ突っ込んだら、ぜんっぜん違うんだろあッ♪

そう思うだけでも、頭おかしくなりますッ、なってますッ、ああッんっ♪

でもこれでえ、ある意味、処女じゃなくなりましたねえ、へへッ、んあ♪

んんう？ フフッ、もお♪ 息い、もっと荒くなってますよオ？

挿れたい？ 挿れたいのっ？ ……うん、挿れてほしい♪

腰振りながらッ、手コキオナニーしてください♪ 僕も腰振りますからッ♪

僕とセックスしてください♪ ハメてッ、犯してッ、ちんぽパコパコしてッ、

いっちばん気持ち良い瞬間を……僕の中で迎えてよ……♪

ひゃあッあ！ あッッ、あッあ、いぎッ♪ う、は、入りましたよ、ちんぽ♪

ああッ、貴方と僕の初セックスッ、画面越しにッ♪ 液晶超越交尾ですねッ♪

実に僕たちらしい変態プレイッ♪ 脳ミソ痺れてクラクラしましゅッ♪

もおずっとこの感覚に陥っていたいッ……もっと下品にッ、もっと変態にッ、

貴方と堕ちたいッ……堕ちれば堕ちるほど、身体の中も外も気持ち良くて、

最っ高ッ……ッ♪ こんな知っちゃったら二度とやめられない……♪

動いてくださいッ……どんなに乱暴にしても……貴方なら嬉しいから♪

ああッ！ おッあッあッ♪ すごいッ♪ すごいよおッ、

やばいですッ、貴方のちんぽッがッあ、僕ん中あ、おかしくしてるッ！

ひッいいいッ、あッあッあッ、キてッ、突いてッ突いて突いてッ！

もっと犯してッ！ オナホみたいに乱暴に扱ってくださいッ。

ひぎッあッあッ、あああああッ、あああああッ、

きいもぢいいいいいッ♪ セックスぎもぢいいいいいッ♪

大好きかれびつぴとのセックスイイッ♪ イイッ、イイよおッ♪

大好きいッ好きッ好きッ大好きッ大好きッ、ああ好きいいッ、ずっと、

ずっと僕だけ見てえッ僕だけ犯してえッ、僕だけ必要としてくださいイイッ♪

うぐあッ、あ、あッ、は、はいッ♪ 僕もッ貴方がイイッ、貴方だけッ、

貴方しかいませんッ、だから、だからっ、もつと、たくさん、いっぱい、

僕をッ、僕とッ、スキスキスキスキッしましよおやおおッ！♪

あッ♪ ああッ♪♪ なんでもこんなきもちいのッ、すっごい、

すっごいよおッ♪ すきいいッ、しゅきいいしゅきッ♪ くださいッ、

もっと好きをくださいッ、くださいッ、こんなスケベな僕をッおお、

好きになってくれた、のにッ、これ以上望むのなんてもうッ、

地獄の底の地中に埋められても仕方ないくらいだけどッ、

好きになってほしいッ好き以上に好きになって、えッえあッ♪ はいッ♪

あアウッ♪ えへッ、えへへへッ、ありがとうございますうッ、

ドスケベでごめんなさいッ、身体だけじゃなくてッ、脳ミソまでドスケベでッ、

淫乱で痴女で変態でごめんなさいッ♪ でも違うんですッ、足りないんですッ、

ひとりじゃ足りないのッ、もつと僕ッ、変態になりたいのおッ！

貴方と一緒にッ、いあッ、変態にツなりたいたいのッなりたいたいのッ！

ひぐッあッもッあッイキッそッ、イクツイッちゃ、うッ、よおッ♪

はい、はいッ、中出しキメてえッ♪ 種付け種付けエッ孕ませてエッ♪

出してッ出して出して出してッ精液ッ僕に全部ッくらさいッ！♪♪

うああアあッ♪♪ あああッ♪♪ キたッキたあッ精液だッ、

貴方の精液ッお腹の中もらいながらッあッ、いつちゃつでるッ♪♪ よおッ♪

ぎもちいいッ、ぎもちすぎッ♪ おおおッ、おッうッ あああッ♪

うぐッあ……あ、ああッ……あ……。

……ッ、……アハ……ハハ……いひ、ひひッ……ひひッ……。

出たね、たっくさん、すっごい、白い、濃い、ホントに、お腹の中……、

溢れてるみたい……です。想像妊娠しそおだなあ、ハハハ……♪

……はあッ……はあッ……。あ、の……カメラ、近づいて……。

そ、です……顔、寄せてください。もつと、もつと近くに……。

……、……チュッ♪

ひひッ……♪ ファーストキス……♪ それがカメラっていうのも、

やっぱり僕たちらしくないですか……？ アハハッ……♪

♡スケベすぎた

あ……こ、ここ、こんなにちは。

ああああの、ごめんなさい。放課後に呼び出してしまつて……。

しかも思考回路がクソすぎて、貴方のをパクって屋上にしちゃいましたし。

う、うう、昨日のこと……まるで夢みたいで。

教室で貴方と目を合わせられなくて……すみません、本当に……。

夜が明けてから、色々考えたんですけど……いえ、貴方の言葉をですね、

疑つてるとかそういうですね、違うんです、そういうんじゃないです。

ただ、僕……自信がなさすぎて。昨日はスイッチが入ってたから、

言えないことが言えたりしましたけど、貴方を前にするとやっぱり、

あの、あの、こんな、生ごみ寄せ集めて作ったみたいな、

臭い肉塊みたいな僕を、好きになってくれるひとなんているのかな、なんて。

……、……え、な、なんですか……？

ふあッ……！ え、え、え、え。

うああああ……。やだ、やだやだ、やめてください、そんなことしたら、

こんな風に……やさしく抱きしめられたら、僕、僕……、い、いえ……。

あの……、なんで貴方はそういう、そういう……ことを、

出来るんですか……。僕、貴方を不幸にさせないために、

何を言うべきか考えるのが精いっぱいなのに。

ああダメだ、それすら出来ない、頭がぼわぼわしてます。

今の僕、10マイナス120くらいです……。

んひあッ。ちょ、え、だ、だめ、こんなところで、

お尻なんてさわっちゃ……。

ひあッ。だめ、だめですよ、だって、だって、そんなことしたら、

僕……。

貴方のこと、欲しくなっちゃうから……。

……本当に……僕のこと、昨日のように扱ってくれるの……？

う、うう、ああ、……貴方が……断るわけないって、何となく分かってました。

これはもう、僕の性格なんです。……うえ、それも知ってたんですか？

あう。何もかも見透かされてる……。ほんっと、貴方は……僕の……。

……僕、貴方のこと離しませんから。

ここまで好きになってしまったら、愛してしまったら、もう別れるなんて無理。

わがままばかり言いますが、僕、人生全てを捧げます……♪

あの……さっそくわがまま言っていいますか？……はい。

二人で、……すっぽんぽんになりませんか？

……ああッ、いえ……そういうのじゃなくて……。

内容は……なんでもいいんです。

僕はただ、貴方と……本当になんでもいい。

とにかく、あのネットのやり取りのような……ド変態で下品なこと……したい。

二人が初めて打ち解けたこの場所を……思い切り下品に、頭おかしく汚したい。

ここで全裸になって、なんかこう、……寝転んで……抱きしめ合いたい。

そう願う僕は、歪めますか？

……ありがとうございます。分かっていただけ……嬉しいですよ。

そこ……座りますから、僕が脱ぐところ、見てくださいいね……♪

ふふ……♪ じゃあ、上から脱ぎますね♪

ん……♪ 実は今日、ノーブラで登校してきました……♪

えっへへ♪ ほら見て、豊満エロ巨乳、隙間からはみ出してます……♪

何だかんだ言いましたが、やっぱり僕、貴方の気持ちに期待してたんです♪

下着つけずに来たってことはもう、そういうことじゃないですか。

ヤル気満々ですよね、笑っちゃいますね。僕の人生そのものみたいな茶番です。

でも、……貴方は真剣に聴いて、答えてくださいました。

僕を笑わずに、抱きしめて、お尻モミモミしてくださいました……♪

超絶失礼で切腹かもしれませんが、貴方は……僕に……似ています。

あ生意気ですよねやっぱり。すみません。肉便器にしてください。

肉便器の前に、まず脱いじゃいます。……あは……♪ 屋上で全裸かあ……、

ガチで言い訳できないレベルのドスケベですね。ああほら、もう……、

……脱いじゃった……♪ 屋上ですっぽんぽんになっちゃった♪

はあッ……はあッ……♪ ああ、出た、出ましたねその目……♪

僕をメス穴としか見てないのに、やさしさが分かる目……♪

貴方と、貴方のちんぽと同じくらい、その目が好きです……♪

貴方も……脱いでください。このまま待ってますから。

……、……。

ああ、ああ……。

……好きッ……。

好き好きッ好きッ……好きッ絶対離したくないッ、離れてほしくないッ……。

ああ好きッ好きッ、大好きいッ……ううああ♪ 身体おつきい……硬い……。

僕の身体に、ガチガチちんぽ当たってるッ……♪

貴方の身体に、ドスケベおっぱい当たってるッ……♪

う、うう、もつと、シて、貪るように抱きしめてッ、それだけで僕ッ、

僕ッああッ、きもちいい……こんな頭おかしいことしてるの、きもちいいッ、

大好きなひとと屋上でッ、素っ裸で身体まさぐり合うのッ、幸せえッ♪

好きッ、好き好きッ、好きッ、好きなのッ、大好きなのッ、好きすぎてッ、

好き以外の好きを伝えられないッ、伝わって、分かって、理解して、

ほんとうにつ……好きなのっ……。

……うああ♪ うんッ……、うんッ♪ 大好きだよッ、ありがとうっ♪

僕、ずうううっと、こんなことがしたかったッ。

僕を理解してくれる誰かを待ち続けてたのっ。

それが貴方で良かったッ。貴方でッ、貴方をッ、僕は、僕は、

ああああッ……♪

愛してますっ……「わたし」の、旦那様あッ……♪

ひぐッあッいいああああッ、あああッ、あッあ♪

はああああッ、あああああッ、い、いっちゃったあッ♪

はーッ、はーッ、いつちゃったよおッ……頭ん中あすつごい痺れてるッ、
これ、この感覚、貴方としか味わえないこれ、もうやみつぎ、
クセになっちゃったあッ♪

いひッ……ひひひッ♪ あははッうふふッ♪

下品なこと、頭おかしいこと、って……言いましたけど。
全裸でハグすることが……それに値するものだったら。

「それ以上のこと」も、当てはまりますよね……？

あはッ……あははははははッ……♪

こんなスケベな彼女を持った貴方は……。

この先きつと、いや……確実に……。

誰かに……「スケベすぎた」と言われる人間なんですよ……♪

(終)